

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	107 -	事業名	地域いきいき事業	担当部課	福祉部長寿課
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 人がいきいきとつながるまち		会計区分	介護保険特別会計
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～		予算区分(款 - 項 - 目)	
	第6次総合計画・基本目標	✓ 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		3-1-2 一般介護予防費	
	法定受託事務の有無	-			
	その他(関係計画、要綱等)	✓ 長久手市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画			
事業開始の背景、経緯等	介護保険法の改正により、全ての市町村が平成29年4月から「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始し、高齢者に対して、地域の実情に応じた効果的な介護予防及び日常生活支援を行うことが定められたため。				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市民をはじめとするたくさんの主体の意欲や能力を最大限に発揮し、地域での健康づくり活動や支え合い活動等が創出されるような支援を推進する。			
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 主として、市内在住で要介護の認定を受けていない65歳以上の人			
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 自助、互助の力を高める。			
	事業を構成する事務事業(B票)	① 地域いきいき事業	拡充	④	
		②		⑤	
		③		⑥	

コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	事業費(A)	千円	決算	予算		2,136	30,246	31,925
決算					225	25,069	28,434	
人件費(B)	千円	決算		8,020	10,447	10,514		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		8,245	35,516	38,948		

成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)	
	A 事業参加延べ人数	人	目標			30	8,000	10,000	12,000
			実績			45	9,339	9,893	
	B ワンコインサービス提供回数	回	目標						1,100
実績				293	437	593	1,228		
C		目標							
		実績							

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 事業参加者の延べ人数(いきいきライフ推進事業、一般介護予防事業、いきいきサロン、いきいき介護予防教室)

B ワンコインサービスについて支援者がサービスを提供した回数

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町においても同様に地域の実情に応じた取組を行っている。本市では平成29年3月から介護予防・日常生活支援総合事業を開始し、平成29年度から予算、事業の組み直しを実施。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 順調に実績を伸ばし、目標を達成している。
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 平成28年度に事業を開始し、徐々に事業参加者を取り込めている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 地域での健康づくり活動や支え合い活動に興味関心が高くない人の参加につながっていない。また、参加している方でも自発的な活動につながっていない。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 事業の意図及び事業参加のメリットを適切に広報し、参加者層の拡大及び自発的な活動につなげていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 5年後を目処として、基本的に自助、互助の形を確立させ、市民や企業等様々な主体の自発的な活動へと移行させていく。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・令和元年度からは、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。
------	-------------------------	--

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	地域いきいき事業		担当部課	福祉部長寿課	決算書ページ	—
事務事業名	①	地域いきいき事業	予算区分	3-1-2 一般介護予防費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成28年度（2016年度）	終了（予定）年度	平成40年度（2028年度）		

1. 事務事業の目的

対象・手段	（誰、何に対し、何をどのように実施しているのか） 市民をはじめとするたくさんの主体の意欲や能力を最大限に発揮し、地域での健康づくり活動や支え合い活動等が創出されるような支援を推進する。それによって、主として、市内在住で要介護の認定を受けていない65歳以上の人の介護予防・日常生活支援を推進する。
意図	（対象をどのような状態にしたいか） 自助・互助の力を高める。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算 決算		2,136 225	30,246 25,069	31,925 28,434	38,333
<備考：事業費の主な内訳（30年度(2018)）>							
(1)		いきいきライフ推進事業委託				15,082	千円
(2)		いきいきサービス事業委託				12,892	千円
(3)		ワンコインサービス事業補助金				313	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
どこでもいきいき運動教室延べ参加者数	人	見込 実績		10 6	3,000 3,975	4,000 4,388	5,000
		見込 実績					
<備考：活動の概要（30年度(2018)）>							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

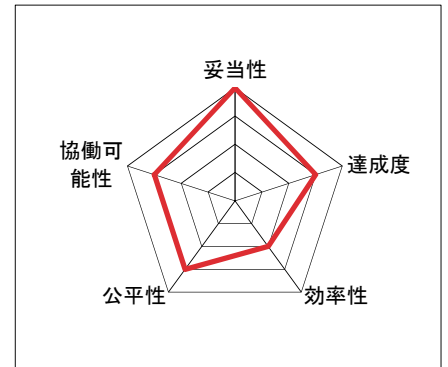
（制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など） 近隣市町においても同様に地域の実情に応じた取組に着手している。本市では平成29年3月から介護予防・日常生活支援総合事業を開始。平成29年度から予算、事業の組み直しを実施。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
（前年度【予算額】）	（今年度【予算額】）	（増減額）
31,925 千円	38,333 千円	6,408 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	拡充	
・前年度【コメント】	事業の意図及び事業参加のメリットを適切に広報し、参加者層の拡大及び自発的な活動につなげていく。	
(3) 改善状況		
（何をどのような状態に改善したのか） 運動だけでなく市民の多様なニーズに対応し事業参加者を取り込むため、民間企業と連携した取組に着手した。また、地域サロン等における健康づくり等の先導役を養成するための講座を実施し、「いきいきライフパートナー」として約60名を認定した。		

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働可能性	3



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数（人）				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	30	8,000	10,000	12,000
実績	45	9,339	9,893	
(2) 協働の状況（30年度(2018)）				
（協働で取り組んだこと、評価できない理由など） 市民と一緒に振り付けを考えた体操を市民まつりのステージで参加者が披露し、事業周知を行った。				

【活動エピソード】

（活動のエピソード、コメント、特記事項など） 参加者層の拡大や担い手づくりをさらに意識して進める必要がある。

【改善ポイント】

（改善が必要なこと、改善の方法など） 事業参加による個人の状態の変化を分析する必要がある。
--

7. 今後の方向性

拡充